

「令和7年度プロフェッショナル人材活用による中小企業の課題解決支援事業実施業務」
公募型プロポーザルに関する質問への回答

番号	質問日	質問内容	回答
1	2/19	仙台市の入札参加資格は必要か。	受託候補者募集要領に記載の応募資格要件を満たす必要がありますが、公募型プロポーザルのため仙台市の入札参加資格は必要ありません。
2	2/25	委託費（上限28,510千円）は支援先企業を募集して、集まった10～15社のうち ・全てに対するマッチング支援か。 ・受託者の対応できる内容・人員体制を考慮して、10～15社のなかから適正と思われる企業を数社割り当てられるのか。	委託費上限28,510千円の範囲内で、仕様書に記載のとおり、選定により支援先として採択する企業数は10～15社程度とし、受託者の体制・予算等に応じて適切な数を設定してください。
3	2/25	委託の業務内容は以下という認識でよいか。 ①対象企業の課題とニーズ把握 ②プロ人材の選定＆マッチング ③外部のプロフェッショナル人材とのマッチング費用 ※③の数と各金額により、費用が変わるという認識でよいか。	委託の業務内容は、仕様書に記載のとおりです。 マッチング費用については、採択する企業数と手数料率等により変わると考えられますが、委託費上限内で想定する採択企業数を確保いただくようご留意願います。
4	2/25	自社のプロ人材（経営コンサルティング）で対応できる内容については対応してもよいか。	自社のプロ人材が中小企業の課題解決に向けた適切なプロ人材であれば対応いただいても構いません。但し、本事業は、自社以外のプロ人材の紹介料・手数料等を本事業の委託費から負担することとしており、自社のプロ人材の費用には充てられませんのでご留意願います。